

四中だより

夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校

新座市立第四中学校学校だより 令和8年4月8日 第1号

TEL 048-477-6053 URL www.c-niiza.ed.jp/j-daiyon



笑顔と優しさにあふれ、活力に満ちた学校づくり

校長 大井 敏彰

【入学・進級おめでとうございます】

正門の満開の桜に迎えられ、令和8年度が始まりました。校長室から窓の外を眺めると、今年は柳瀬川沿いに立ち並ぶ桜の花が春風に乘って舞踊る「花吹雪」が見られました。春らしい光景から、華やかな開放感を感じました。



【4.3 桜満開の第四中学校】

私は、本校校長2年目の大井敏彰（おおいとしあき）です。昨年に続き、四中生のため、保護者地域のため、第四中学校の教育活動が充実するよう教職員一丸となって努めてまいります。よろしくお願いいたします。

本日、新1年生148名が入学し、全生徒数463名、16学級でスタートしました。保護者の皆様におかれましては、お子さんの御入学・御進級、心よりお祝い申し上げます。

【今年度の「目指す学校像」】

本校に継承されている学校教育目標「夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校」を踏まえ、今年度の「目指す学校像」を、次のように策定いたしました。

令和8年度 目指す学校像
「笑顔と優しさがあふれ、活力に満ちた学校」

昨年度、四中生の活力あふれる姿が至る所で見られました。「合唱祭」「体育祭」「四中絆博」「三年生を送る会」等、学校行事を中心に生徒一人一人がエネルギーを開放し、本当に素晴らしい活躍を見せてくれました。また、生徒個々に目を向けても、部活動や英語暗唱大会、芸術作品等、それぞれの得意分野を生かした活躍が数多く見られました。

その一方、日常の学校生活に目を向けると、集団の中でうまく自分を表現できず、力を発揮できていない生徒が少なくないように感じま

した。特に、学校生活の中でその場の気分を表に出して行動してしまう生徒の振る舞いが気になりました。大きな問題が起きるわけではありませんが、自分をコントロールできていない姿は、中学生として改善する必要があると考えました。加えて、相手への「共感」や周囲への「思いやり」を育み、誰もが安心できる環境を創出することも、四中生一人一人の能力をさらに伸ばしていくために必要だと捉えました。その結果、誰もが「自分らしさ」や「個性」を表現できるようになり、学校全体の「活力」を創り出す学校づくりを進めたいと考え、目指す学校像を「笑顔と優しさがあふれ、活力に満ちた学校」としました。

その指標として「笑顔」と「優しさ」を次のように捉えています。

「笑顔」…学校生活への喜びや安心感

「優しさ」…他者への思いやりや共感

日々の教育活動をとおして「笑顔」と「優しさ」があふれる教育環境を創出し、活力に満ちた中で生徒一人一人が豊かに学び、共に成長できる第四中学校でありたいと考えます。

保護者の皆様には、本校の教育活動への御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

【「自律貢献」のスタート】



【4.6 準備登校でキビキビと行動する新3年生】

目指す学校像に迫るため、昨年度末に生徒の能力を開花させるための合言葉として「自律貢献」を掲げました。

準備登校では、新3年生一人一人が自分の与えられた役割を自覚（自律）して行動し、学校や新入生のため（貢献）に進んで取り組んでくれました。「自律貢献」を具現化する新3年生の姿から、最上級生としての高い意識が感じられました。今後の活躍がとても楽しみです。